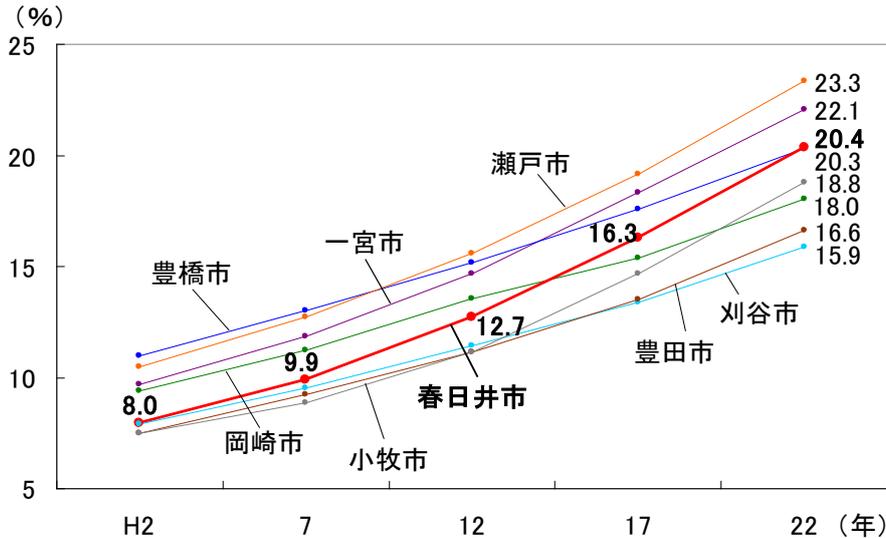


# 春日井市の産業の現状と課題

## 1. 人口

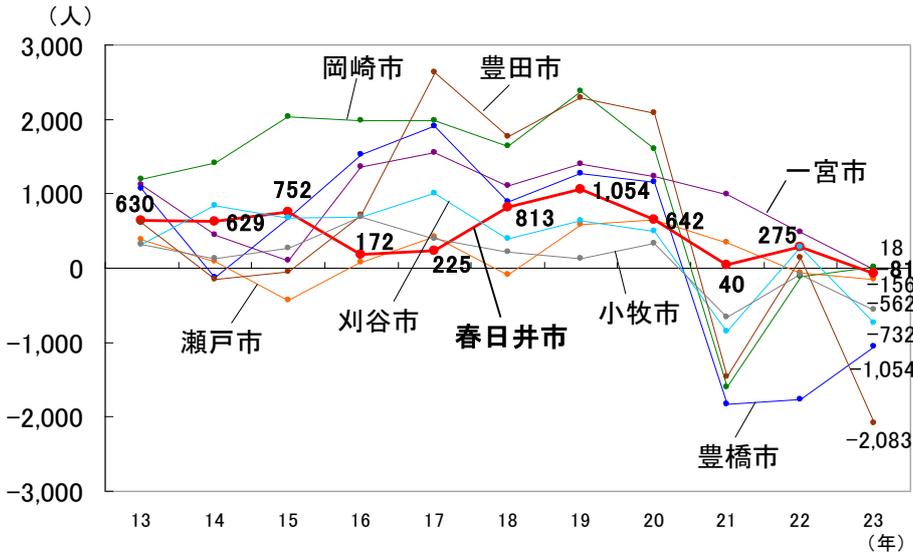
春日井市では高齢化が急速に進展しており、高齢者人口の割合は平成22年には20.4%まで高まっている。また、これまで人口の社会増が続いていたが、平成23年には81人のマイナスとなる等、転換期を迎えている。

図1 高齢者(65歳以上)人口割合の推移



※岡崎市、一宮市、豊田市は合併前の旧市町村を足したもの  
(資料) 国勢調査

図2 社会増減の推移



※前年10月～各年9月  
※岡崎市、一宮市、豊田市は合併前の旧市町村を足したもの  
(資料) 愛知県人口動向調査

## 2. 事業所

春日井市の事業所数（民営）は、平成21年は11,439事業所となっており、平成18年度と比べて5.4%増加している。

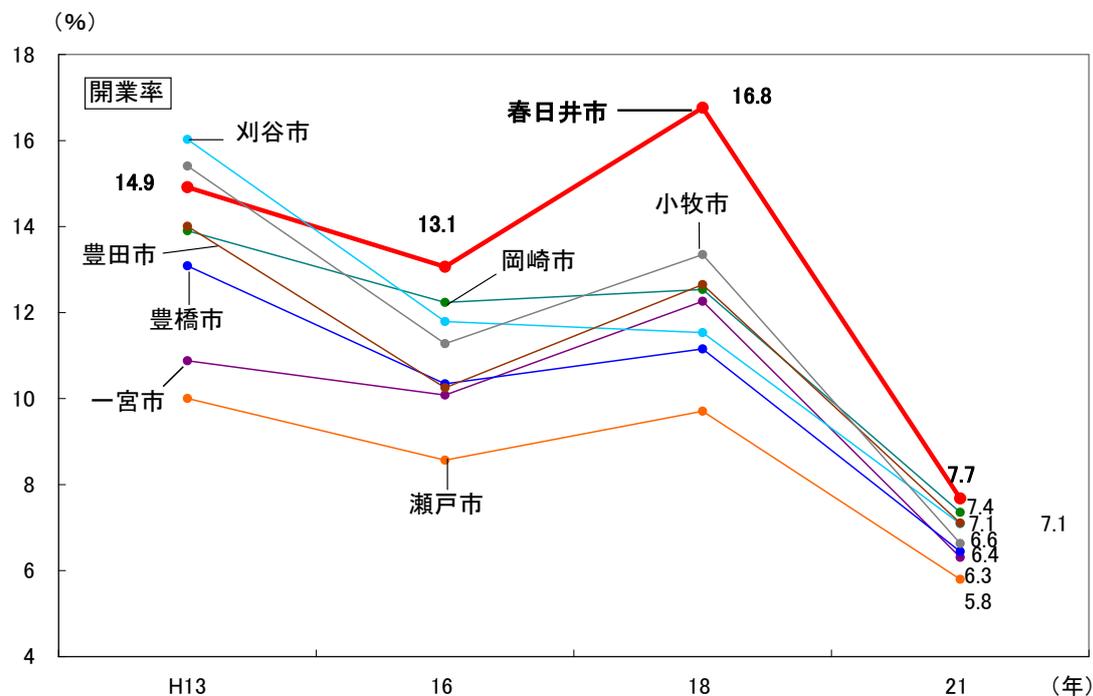
一方、開業率は、平成18年には16.8%と高い割合であったが、平成21年は7.7%まで低下しており、県内の主要自治体と同程度となっている。

図3 事業所数及び伸び率

	H18		H21		H21/H18 伸び率
	事業所数 (民営)	県内 構成比	事業所数 (民営)	県内 構成比	
春日井市	10,853	3.3%	11,439	3.4%	5.4%
豊橋市	15,767	4.8%	16,906	5.0%	7.2%
岡崎市	14,670	4.5%	15,193	4.5%	3.6%
一宮市	16,587	5.1%	16,636	4.9%	0.3%
瀬戸市	5,315	1.6%	5,454	1.6%	2.6%
刈谷市	5,375	1.6%	5,617	1.7%	4.5%
豊田市	13,737	4.2%	14,488	4.3%	5.5%
小牧市	6,515	2.0%	6,857	2.0%	5.2%
愛知県	328,229	100.0%	337,904	100.0%	2.9%

(資料) H18：事業所統計、H21：経済センサス

図4 事業所の開業率の推移



※開業率：新設事業所数／前調査年度事業所数

※岡崎市、一宮市、豊田市は合併前の旧市町村を足したもの

(資料) H11～H18：事業所統計、H21：経済センサス

### 3. 製造業

製造業の事業所数は減少が続いており、平成12年の1,069箇所から平成22年には766事業所まで減少している。一方、製造業就業者数は平成22年は24千人であり、前年比横ばいとなっている。

図5 製造業事業所数の推移

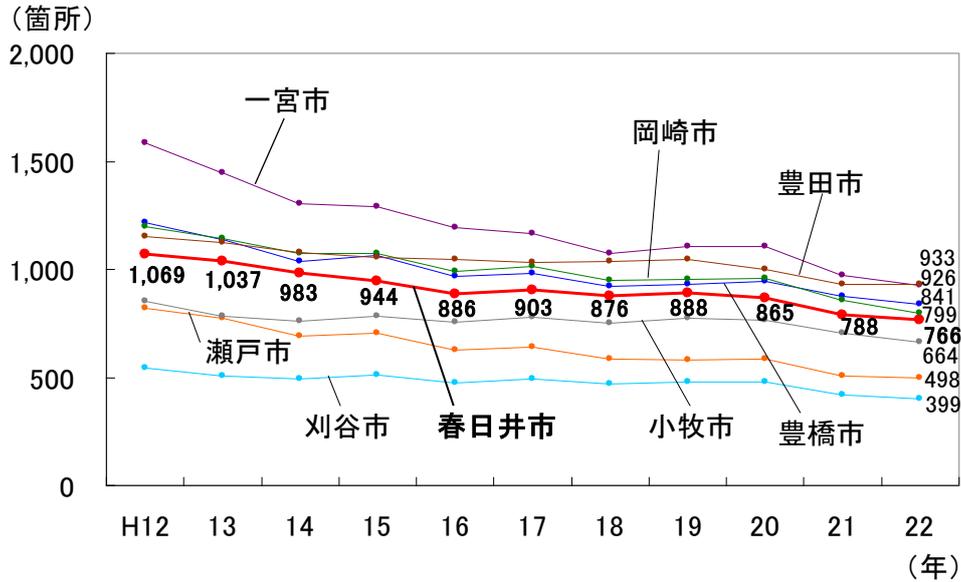
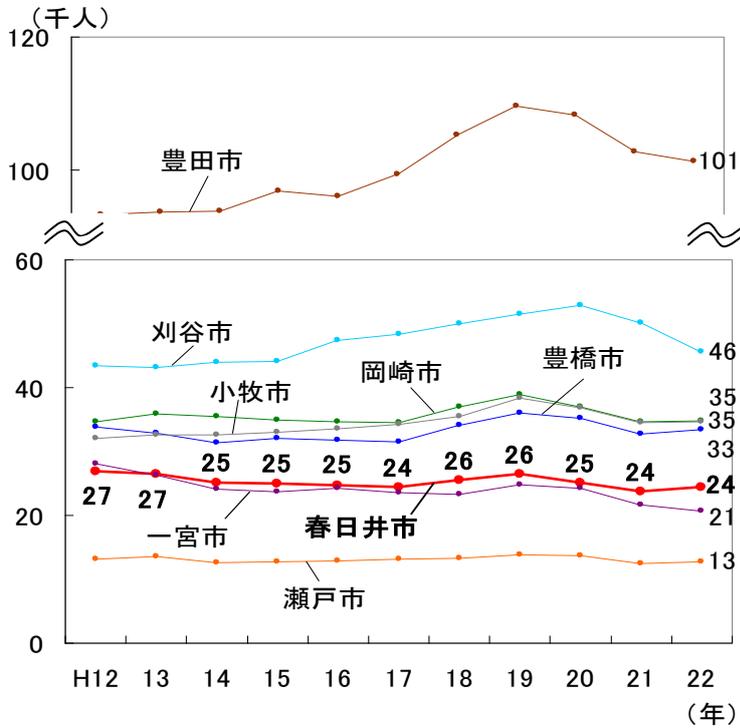


図6 製造業従業者数の推移

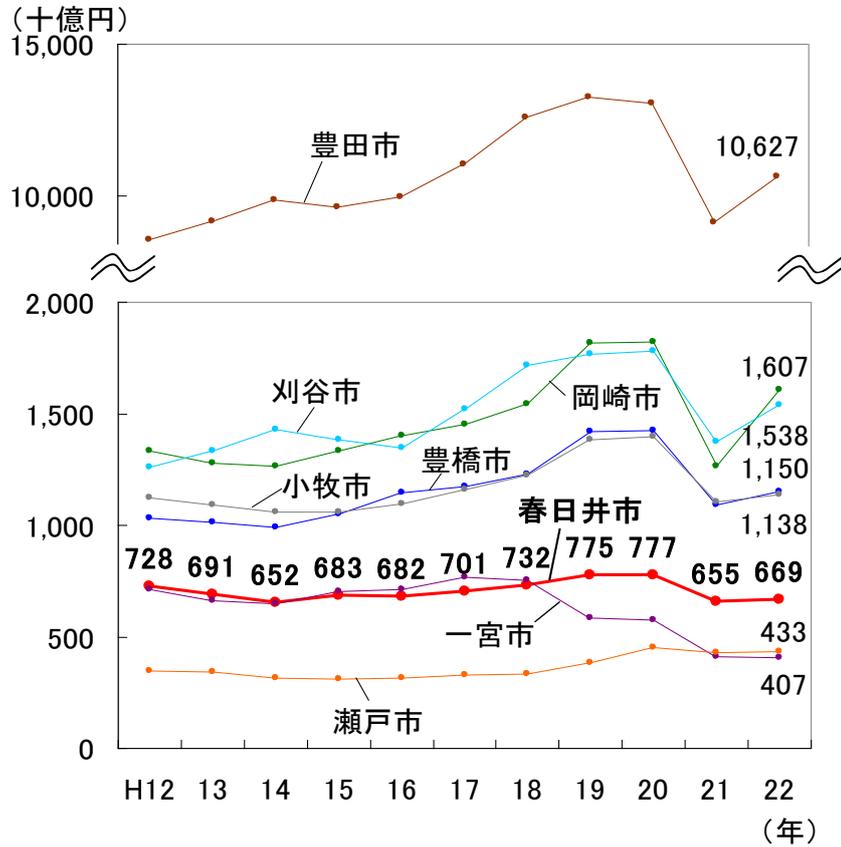


※岡崎市、一宮市、豊田市は合併前の旧市町村を足したもの

(資料) 工業統計

製造業製品出荷額等は、リーマンショックの影響により平成21年は6,550億円まで減少したものの、平成22年は6,690億円に増加しており、回復傾向にある。

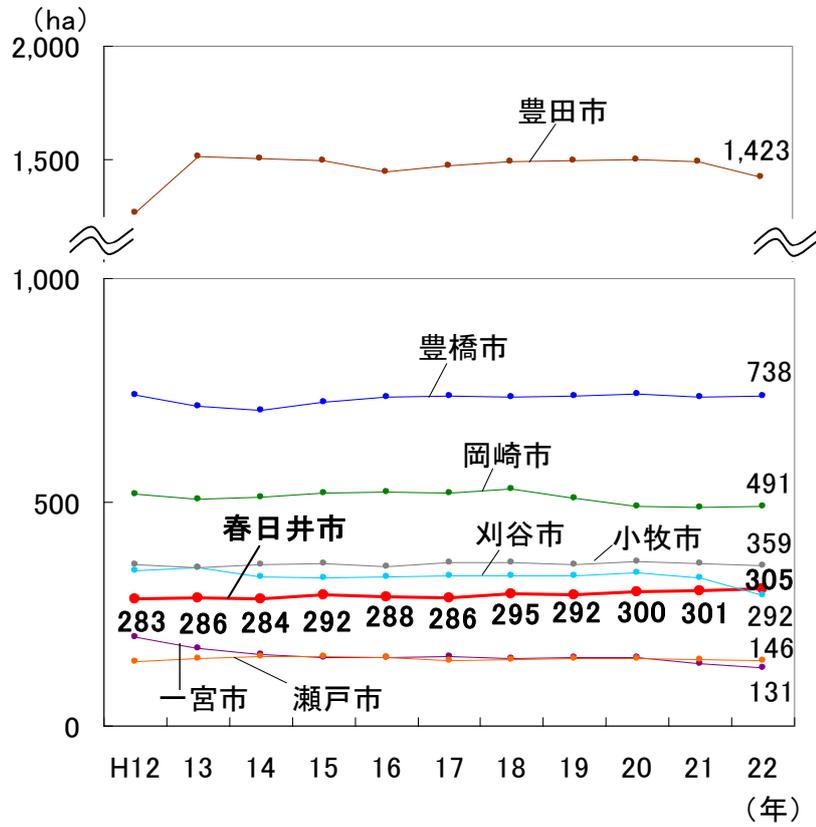
図7 製造業製造品出荷額等の推移



※縦軸の目盛間隔が豊田市とその他の市では異なる  
 ※岡崎市、一宮市、豊田市は合併前の旧市町村を足したもの  
 (資料) 工業統計

製造業の工業敷地面積は概ね微増の傾向が続いており、平成22年には前年より4ha増加して305haとなっている。

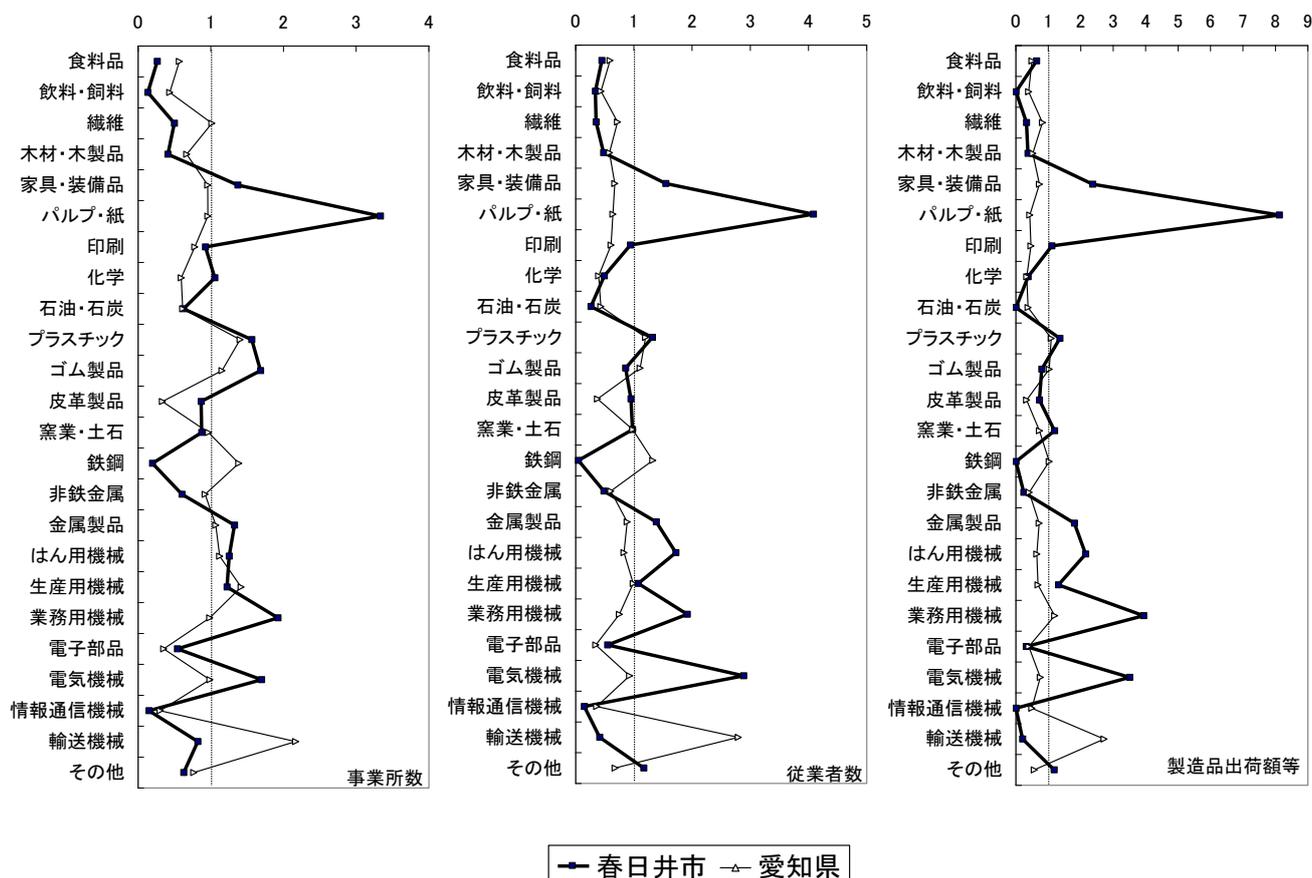
図8 工場敷地面積の推移



※縦軸の目盛間隔が豊田市とその他の市では異なる  
 ※岡崎市、一宮市、豊田市は合併前の旧市町村を足したもの  
 (資料) あいちの工業

春日井市の製造業の特化係数をみると、事業所数、従業者数、製造品出荷額等ともパルプ・紙が突出している。その他、業務用機械、電気機械、金属製品、はん用機械が高くなっており、春日井市製造業の特徴となっている。

図9 中分類別特化係数にみる産業構造



(注)  
 春日井市の特化係数：製造業の中分類別事業所数、従業員数、製造品出荷額等の構成比を全国の値で除した値  
 愛知県の特化係数：製造業の中分類別事業所数、従業員数、製造品出荷額等の構成比を全国の値で除した値  
 (資料) 工業統計 (平成 22 年)

#### 4. 商業

小売業の事業所数は春日井市でも減少傾向が続いており、平成19年には1,856事業所となっている。一方、従業者数は平成19年は15,957人と平成16年に比べてわずかに増加している。

図10 小売業事業所数の推移

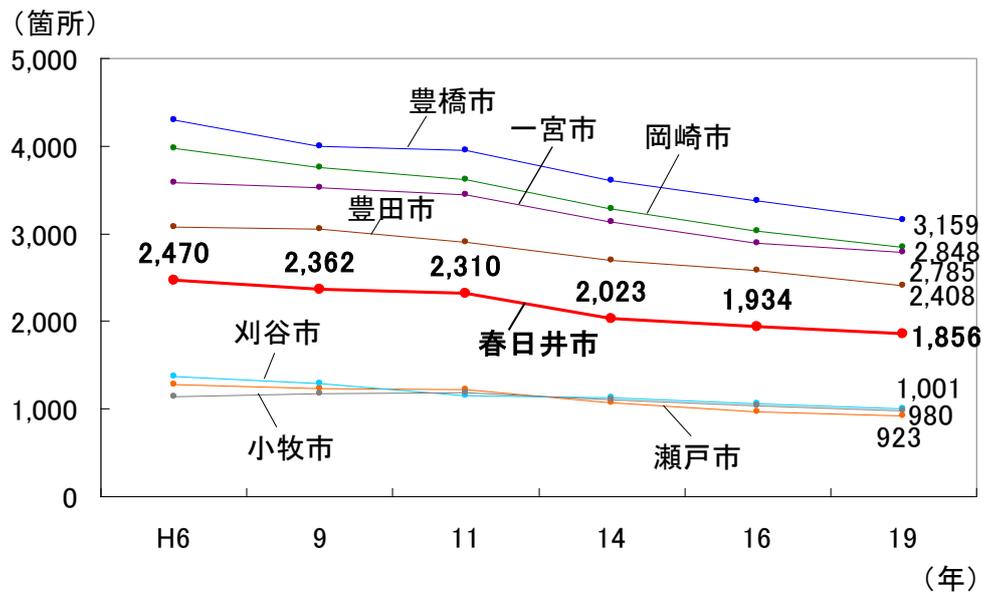
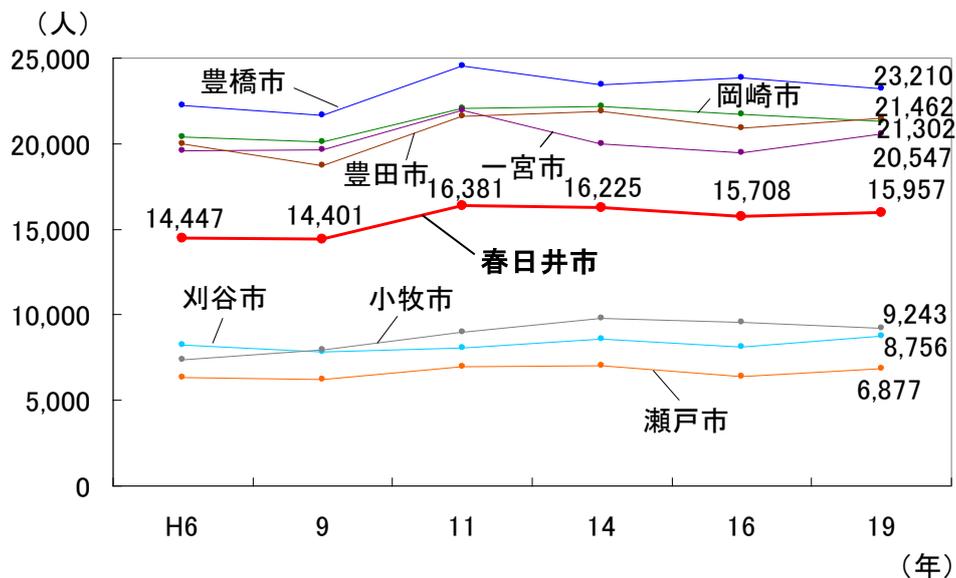


図11 小売業従業者数の推移



※岡崎市、一宮市、豊田市は合併前の旧市町村を足したもの  
 ※H21年商業統計調査は、経済センサスの創設に伴い中止となっている  
 (資料) 商業統計

小売業の年間商品販売額は、平成19年には3,070億円となっており、平成16年より140億円増加している。一方、売り場面積は平成16年の34haから平成19年は33haにわずかに減少している。

図12 小売業年間商品販売額の推移

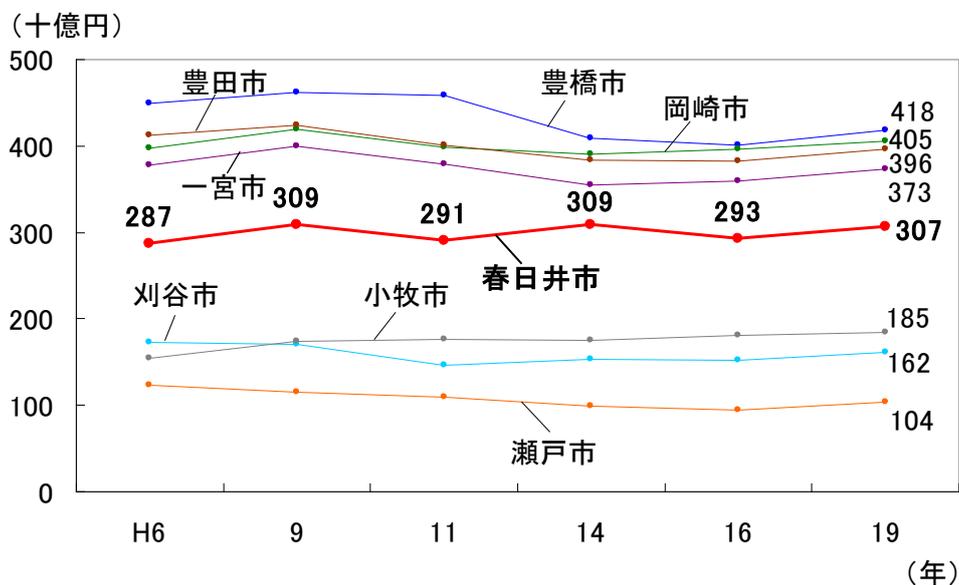
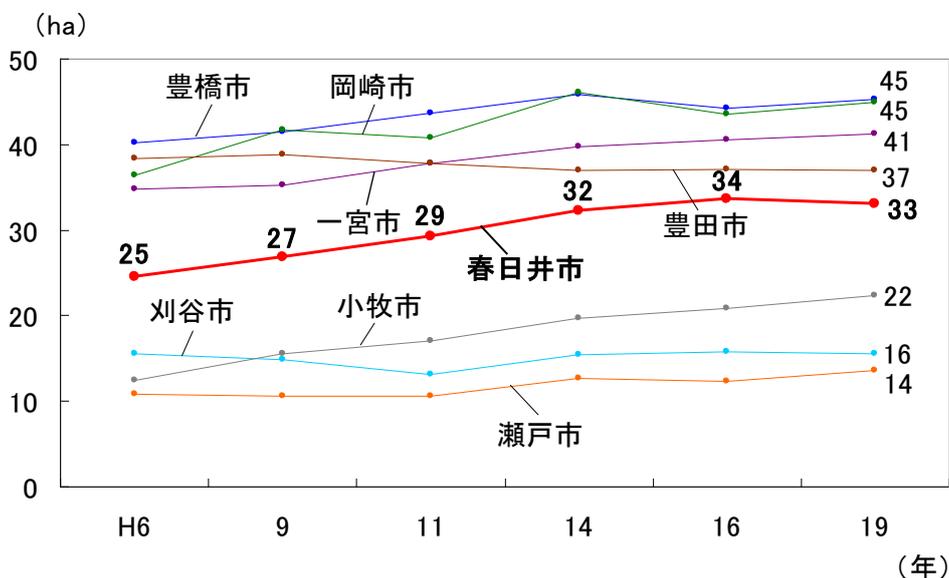


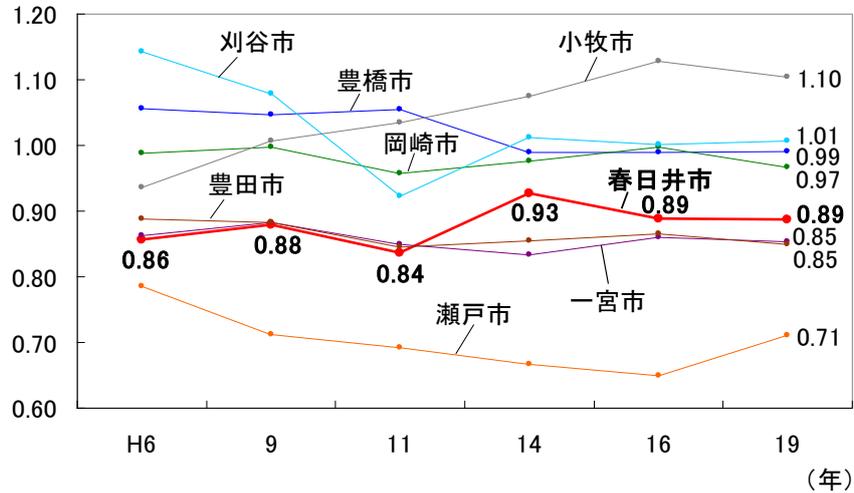
図13 小売業売場面積の推移



※岡崎市、一宮市、豊田市は合併前の旧市町村を足したもの  
 ※H21年商業統計調査は、経済センサスの創設に伴い中止となっている  
 (資料) 商業統計

平成19年の春日井市の商業求心力（商業人口／定住人口）は0.89と算出され、周辺地域に商業人口が吸引されている状況が伺われる。

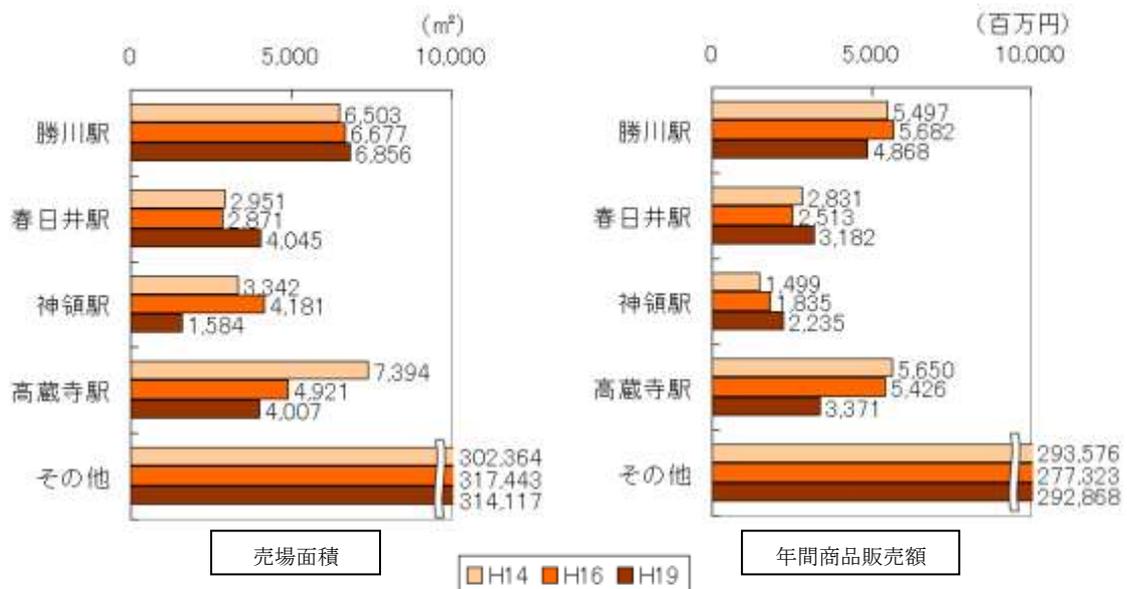
図14 商業求心力の推移



(注) 商業求心力=商業人口／常住人口  
 商業人口=(各市の小売業年間商品販売額／愛知県の小売業年間商品販売額)×愛知県人口  
 ※岡崎市、一宮市、豊田市は合併前の旧市町村を足したもの  
 ※H21年商業統計調査は、経済センサスの創設に伴い中止となっている  
 (資料) 商業統計、住民基本台帳

JR各駅周辺の商業の状況を見ると、平成16年から19年にかけて春日井駅の売場面積、年間商品販売額が増加している一方、高蔵寺駅ではともに減少している。

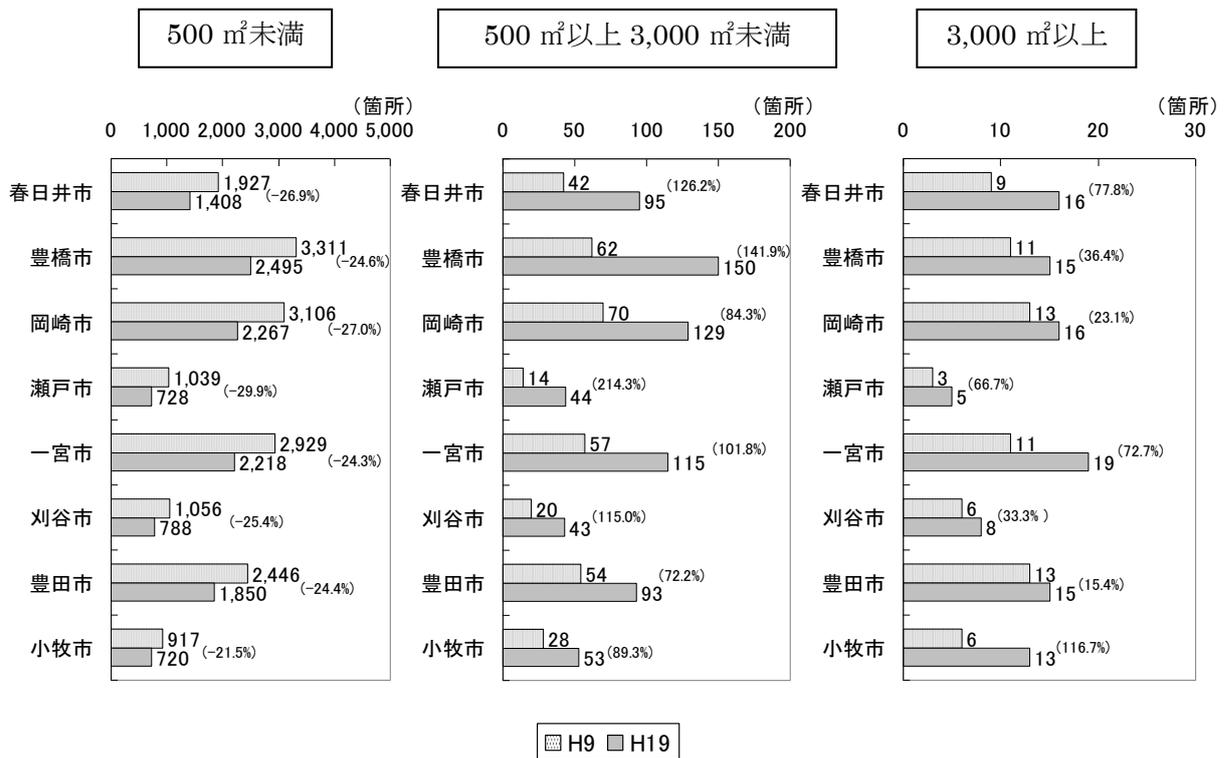
図15 駅500m圏の商業推移



※「その他」は春日井市全体の値から各駅500m圏の値を差し引いて算出  
 資料：あいちの商業、マーケットアナライザー

売場面積規模別の事業所数は、平成19年は500㎡未満が1,408事業所、500㎡以上3,000㎡未満が95事業所、3,000㎡以上が16事業所となっており、10年前と比較すると500㎡未満の事業所数が減少し、500㎡以上の事業所数が増加している。

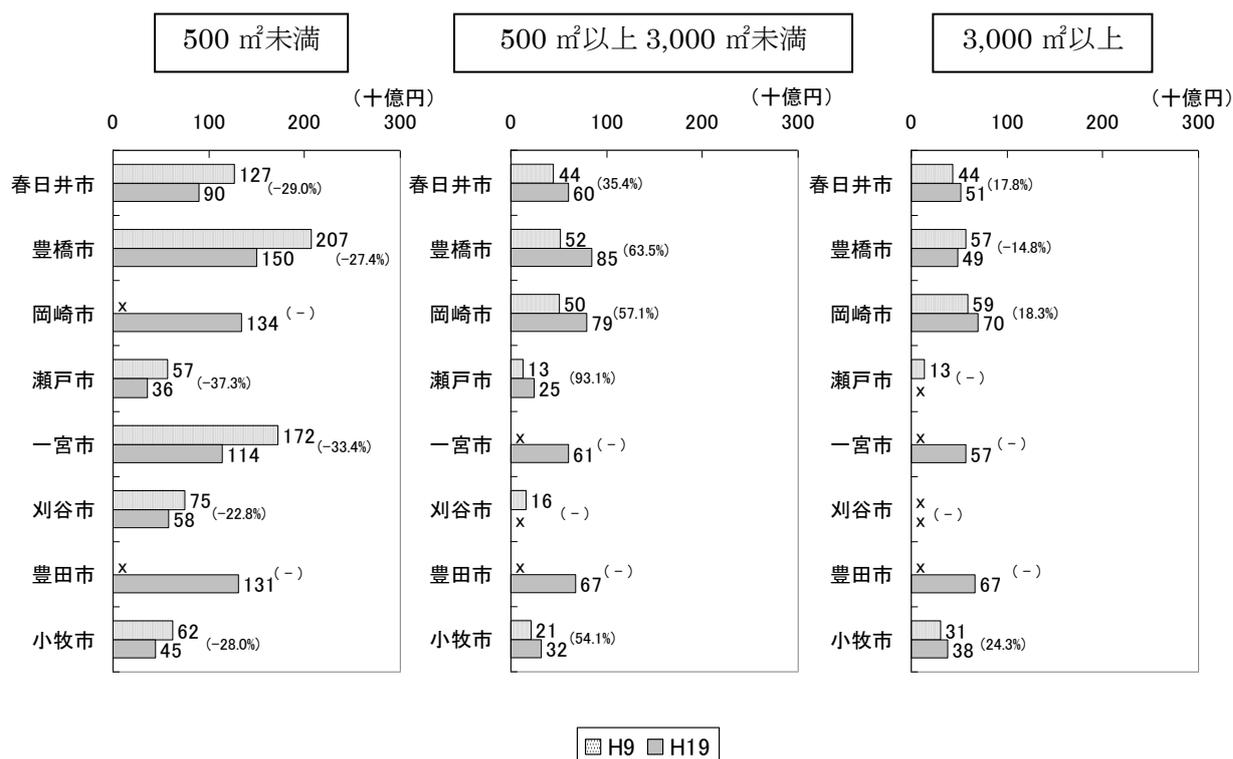
図16 売場面積規模別の事業所数の推移



※ ( ) 内は伸び率、岡崎市、一宮市、豊田市は合併前の旧市町村を足したもの  
 (資料) 愛知の商業

売場面積規模別の年間販売額は、平成19年は500㎡未満が900億円、500㎡以上3,000㎡未満が600億円、3,000㎡以上が51億円となっている。10年前と比較すると500㎡以上の事業所数が増加しているが、事業所数の増加率に比べると販売額の増加率は低くなっており、㎡あたりの販売単価が下落しているとみられる。

図17 売場面積規模別の年間販売額の推移

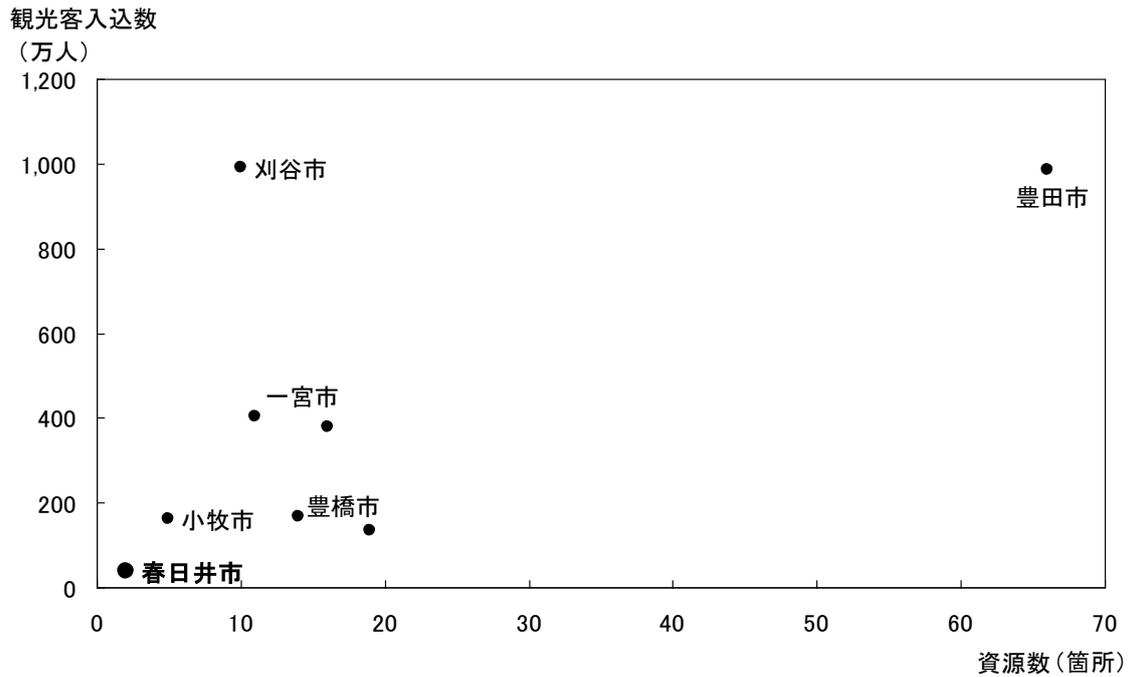


※ ( ) 内は伸び率、岡崎市、一宮市、豊田市は合併前の旧市町村を足したもの  
 ※ 「x」は秘密保護のためのデータ秘匿企業があり、データがとれないもの  
 (資料) 愛知の商業

## 5. 観光

愛知県観光レクリエーション利用者統計によると、平成21年の春日井市の観光資源数は2件（春日井まつり、市民納涼まつり）、入込客数は388,545人となっており、県内の主要市と比べていずれも少なくなっている。

図 18 観光資源数・観光客入込数の関係



※観光客入込数はイベント関連の入込数を除く  
※平成21年データ  
(資料) 愛知県観光レクリエーション利用者統計